平成23年3月20日（日曜日）

“ふるさとちば”のための政策推進を

あい伸也（しんや）県議会リポート

発　行／自由民主党千葉県議会議員会　〒260-0855　千葉市中央区市場町2番13号　電 話 043(227)7910

今を見つめ、未来（あす）を見すえ、共に築こう“元気な山武”

2月県議会予算委員会　山武郡特集

「今を見つめ、未来（あす）を見すえ、共に築こう“元気な山武”」をスローガンに、阿井伸也県議（3期）は誰もが安心して住めるふるさと山武づくりに向かって、任期の最後まで活動をしています。

県議会きっての論客である阿井県議は2月県議会の予算委員会で質問に立ち、高齢者が多様な暮らしを楽しめる社会づくりや未来を担う人づくり、さらに道づくり、産業づくりの施策について、県の担当者に尋ねました。質疑応答の模様を特集します。

23年度までに4806床増床

特別養護老人ホーム　県内

阿井議員　全国二番目のスピードで高齢化が進む千葉県、家族形態の変化による一人暮らしの高齢者が増加する中、本県には介護が必要な高齢者が十七万五千人いると言われている。一方、元気な高齢者の方々は、さまざまな活動を行ったり、もてる能力や経験を生かし、地域社会に貢献していただいている。

そこで、高齢者が多様な暮らしを実現できる社会づくりについてうかがう。来年度の特別養護老人ホームなどの施設整備により、平成二十一年度から二十三年度の三か年で、どの程度の入所希望者の希望に答えられるのか。

高齢者福祉課長　特別養護老人ホームの整備につきましては、千葉県高齢者保健福祉計画におきまして、平成二十一年度から平成二十三年度までの三年間に四千三百六十五床の整備目標を掲げているところです。県におきましては、国の経済危機対策を活用し、補助単価の引き上げなどを行い、特別養護老人ホームの整備を促進しているところですが、平成二十三年度の整備予定も含め、この計画期間中に四千八百六床の整備を進めることとしています。

建築後40年経過の老朽ホーム4施設

阿井議員　県内の養護老人ホームのうち、その制度的理由（措置費が収入源）のため、自己資金不足で老朽化した施設の改築などが進まないと聞いているが、県は今後どのように対応していくのか。

高齢者福祉課長　県内の養護老人ホーム二十一か所のうち、県が所管しております十七施設においては、建築以来、改築を行っていない施設が4施設ありまして、いずれも建築後四十年程度経過し、居住環境が悪化しているという現状にあります。

このため、県におきましては、平成二十三年度当初予算におきまして、老朽化した養護老人ホームの改築事業として、二億三千七百万円を計上したところです。

今後も、養護老人ホームの入所者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるように、老朽化した施設の改築要望に応えてまいりたいと考えています。

老人クラブの活動に支援を

阿井議員　高齢者の社会参加の推進四億三千二百万円のうち、約三億円が生涯大学校の運営費である。元気な老人クラブ活動に対する支援をさらに行うべきではないか。

高齢者福祉課長　老人クラブへの補助事業の実施に当たっては、地域の支え合いや若手高齢者組織の立ち上げなどを積極的に行う市町村老人クラブ連合会に対する支援を厚くし、老人クラブ活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

あい伸也県議 PROFILE

- 昭和39年3月27日生まれ
- 大網小、大網中、長生高卒
- 法政大学法学部政治学科卒
- 国会議員公設秘書
- 平成19年4月千葉県議会議員選挙で3期目の当選
- 大網白里町消防団員
- 町サッカー協会 会長
- 町卓球協会 会長
- 東総少年サッカー連盟会長
- 九十九リトルシニア会長
- 千葉県相撲連盟副会長
- 県議会　予算委員会委員
- 県議会　県土整備常任委員会委員
- 千葉県　水道事業運営審議会委員
- ちば自民党組織本部長

県政や山武地域についてのご要望、ご意見をお寄せ下さい

あい伸也事務所

〒299-3251
山武郡大網白里町大網155
TEL0475(73)0800
FAX0475(73)1465

ホームページ（URL）http://www.aishinya.com　E-mail　info@aishinya.com

あい伸也県議

阿井伸也

〝元気な山武〟へ4つの目標
人づくり　社会づくり
産業づくり　道づくり

東京湾アクアライン通行料金

県「3年後の恒久引き下げに努力」

県議会予算委員会で、県の施策を質問する阿井伸也県議

阿井議員　「東京湾アクアライン」の料金引下げについてうかがう。県の「国策による恒久的な通行料金の引下げ」の要望が実現しなかったことについて、県はどう考えるのか。

道路計画課長　これまで様々な機会を通じ国策による恒久的な料金引下げを求めてきたところですが、国からは、国と千葉県が負担し実施している現在の枠組みによる社会実験を三年間継続したいという提案があり、これを受け入れることとしました。

三年後に実施される高速道路の料金制度の見直しの中で、国策による恒久的な料金引下げが実現されるよう、国が新たに設置する検討会を通じ、国に働きかけてまいりたいと考えています。

知事　三年間の社会実験の継続により、料金引下げが維持されることとなりました。

今後、国策による恒久的な料金引下げが実現されるよう、国に一生懸命、働きかけてまいりたいと考えています。

阿井議員　知事は、アクアラインの料金引下げの県負担分の財源について、導入時に「県民の税金は使わない」と言ってきたが、今回の三か年四十五億円の財源は何か。

道路計画課長　二十三年度においては、既に当初予算案を編成した後、国から一部地方負担による社会実験の継続について提案があり、これを受けて急きょ県で予算計上する必要が生じたことから、緊急的な措置として財政調整基金により対応したいと考えています。二十四年度以降については、一般財源で対応していきたいと考えています。

首都圏中央連絡自動車道 東金～茂原間スマートIC

2か所設置申請へ

阿井議員　首都圏中央連絡自動車道の現状についてうかがう。地元市・町と県で要望している東金～茂原間の2つのスマートインターチェンジの設置に向けての現状はどうか。

道路計画課長　ご指摘の二つのスマートインターチェンジは、地元市町が東金・茂原・木更津間首都圏中央連絡自動車道建設促進協議会などを通じ、国に設置を働きかけているところです。

国からは、現段階において、これらスマートインターチェンジの整備に向けた方針は示されていないが、今後円滑に地元市町が設置の申請手続きに入れるよう、国などとともに、構造や採算性、整備効果の検討を進めているところです。

県としては、早期に計画の具体化が図られるよう地元市町へ積極的に協力してまいります。

医療費助成の拡大

財源問題が足かせ

阿井議員　知事の公約である中学三年生までの医療費助成拡大について、今後二年間でどのように実現していくのか。

児童家庭課長　全ての市町村の足並みが揃った時点で、今回の制度拡充後の通年化の状況を踏まえた市町村の意向や、県医師会など関係機関の意見をよく聞きながら、総合的に検討してまいります。

再質問

阿井議員　小学三年生まで拡大して来年度が五十六億円、小学校六年生までで七十二億四千万円、中学三年生まで拡大するには約八十九億円の財源が必要であります。国の支援のない中、その恒久的な財源をどうするのか。

児童家庭課長　財源の問題も含め、市町村と協力して制度の拡大を着実に進めていきたいと考えています。

また、全国統一した助成制度の創設を、国に対し引き続き求めてまいります。

保育園入所待機児童、増加の傾向

阿井議員　県内の保育所の待機児童は、どの程度いるのか。

児童家庭課長　平成二十二年十月一日現在の政令市・中核市を含む待機児童数は、二千六百五十二人で、昨年同期と比較して百九十人増加しており、特に都市部は依然として高い水準にあります。

再質問

阿井議員　県では待機児童の早期解消を図るため、来年度予算で三十八億三千八百万円を計上しているが、これによりどの程度の解消が図れるのか。

児童家庭課長　二十三年度は、この整備事業により、二千四百七十三人の定員増を見込んでおり、かなりの待機児童が解消できると考えております。

圏央道建設促進を訴える阿井伸也県議

サンライズ九十九里

民間売却否定を県に迫る

阿井議員　県では、九十九里地域における観光振興について、どのような観光政策を持ち、実行しているのか。

観光課長　九十九里地域の魅力は、何と言っても全国有数の規模を誇る雄大な砂浜や豊かな食の魅力などです。

今後、圏央道の延伸による交流人口の増加が見込まれる中で、こうした地域資源の活用、ブラッシュアップや広域連携による宿泊滞在型観光の取組みなど、地域主体の魅力ある観光地域づくりを積極的に支援することとしております。

阿井議員　この場で、「サンライズ九十九里については、行革の名の下の安易な民間売却はしない」と、執行部の方に答弁いただきたいと思うがどうか。

副知事　サンライズ九十九里につきましては、観光拠点としてばかりでなく、地域振興拠点としての役割を十分認識いたしております。地元の意向も踏まえながら、適切に対応していきたいと考えております。

再質問

阿井議員　是非とも、地元の意向に沿ったような形で、これからも地域に密着したサンライズ九十九里であっていただきたいということをお願い申し上げます。

要望